

ARTS for HOPE

宮城支局活動報告書

2016年2月24日 「女川町 運動公園住宅」

Happy Doll Project

女川町にある復興公営住宅「運動公園住宅」におじゃましました。2年前に完成したこの住宅は、200世帯およそ400名が暮らす大規模公営住宅。2年前というと、まだまだ女川全体のまちづくりが進まない時期のこと。ひと足早く、仮設住宅から移り住んだ住民のみなさんは、行政の対応や支援に頼ることなく、自立に向け、自治会長さんと役員さんが中心となって住民同士の話し合いを重ねながら、これまで様々な取り組みを行ってきたそうです。

例えば、コミュニティ再生への取り組みとして、まずは、各棟の各階毎に班長さんを設置。さらにその役割を2ヶ月交替制とすることで、回覧板を届けたり、区費の集金といった活動にみんなが参加し、引きこもり防止や高齢者の見守りを行ってきました。

また、日常生活のなかで住民同士が顔を合わせてコミュニケーションをとれる仕組みも考えられ、いつでも気軽にお茶をのみに行ける「ふれあいカフェ」の設置のほか、老人クラブ・婦人会・子ども会などの集まりでは、その季節にあったモノづくりのイベントや出前講座を定期的で開催し、人が集う場づくりに力を入れています。

今回のハッピードールも婦人会の方々にご協力いただき、初めてにも関わらずたくさんの方が参加してくださいました。

この日は猫が大人気。この団地内に豹柄の猫ちゃんが遊びにくるそうで、猫の話、モノづくりの話をしながらかつという間に素敵なマスコットが完成しました。

震災当時1歳で、高台に避難して一命をとりとめたというお孫ちゃんのいるおばあちゃま。そのお孫ちゃんがいよいよ、この春、小学校に入学することを嬉しそうに話しながら作っていたのは、カラフルでモチーフもたくさんついたかわいらしいハンガーポケットでした。ぜひ喜んでもらえますように…。



